

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-114	小学校	体育	保健	5・6年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
207・文教社	保健・503	わたしたちの保健 5・6年		

1. 編修の基本方針

真の生きる力を養うために

次の基本方針をもとに編修しました。

基本方針 **1**

学校現場での実態，経験，実践を踏まえ，学習を子どもの側から捉え，内容を構成しました。

基本方針 **2**

保健を専門としない教員，新任もしくは若い教員にも，取扱いがしやすい構成にしました。

基本方針 **3**

これからの人生がよりよいものになること，その目標に向かって自分自身の課題を見付け，向上心を養い，明るく楽しい生活を営む態度が身に付くことを願って，紙面を構成しました。

① 自ら課題を見付け、これからの学習を見通せる“動機付け”ページを各単元の始まりに配置しています。

1 心の健康

心は、どのように発達していくのだろう。また、心に不安やなやみがあるときには、どのようにすればよいのだろう。

心はどこにあるのかな? 驚く 悲しむ おこる 読む 話す 計算する 考える 助け合う きまりを守る 思いやる

これで、全ての心はたまたまなのかな?

心のチェック表

今の自分をチェックしてみよう!

朝、元氣よくあいさつができましたか?	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ	学校生活は楽しいですか?	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
外で元氣に遊んでいますか?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			いららすることがありますか?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
体の調子はよいですか?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			不安なとき、おなかが痛くなったことがありますか?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友達と仲よくしていますか?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			なやみをだれかに相談したことがありますか?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
いやなことやこままっていることがありますか?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							

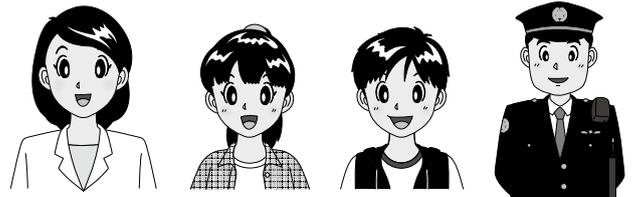
心の健康って、どういうことなのかな?

(p.2)

② 自ら設定した課題を解決していくための活動として、「考えてみよう」や「調べてみよう」という発問によって学習を進めていけるようにしています。



③ 課題解決への支援として、子どもキャラクターが対話形式をとることによって、思考のサポートをするとともに、子どもたちと身近な雰囲気の中で学習することで、より自分のこととして身に付けていけるようにしました。



④ 各時間の終わりには、“新しい自分にレベルアップ”として、記述する欄を設け、思考する力、判断する力、表現する力を、自然と身に付けていけるようにしています。また、それぞれの子どもの理解度に応じて、記述の手助けになる吹き出しを記載しています。それによって、1時間の振り返りも可能にしています。

考えてみよう 病気の主な原因には、どのようなものがあるのでしょうか。

病原体 環境 生活のしかた

体のていこう力が弱くなる

いろいろな原因が重なって病気がかかってしまう

「病原体」とは、病気のもとになるウイルスや細菌などの、ごく小さな生物のことです。「ていこう力」とは、病原体とたたかう力のことです。ていこう力を高めると、発病しなかったり、発病しても症状が軽くなります。「環境」とは、自分を取りまく空気や水などのことです。

身近な病気の原因

病名	原因
かぜ	病原体がもとになって起こる。
インフルエンザ	体のていこう力が弱まって起こる。
むし歯	生活のしかたが関わって起こる。
	環境が関わって起こる。

病気の原因は、病原体、体のていこう力、生活のしかた、環境に分けることができます。病気ほとんどは、一つの原因で起こるのではなく、いくつかの原因が重なって起こります。

新しい自分にレベルアップ あなたがかかったことのある病気の原因を考えましょう。

31ページを参考にしよう。

夜おそくまでゲームをしていて、そのまま寝てしまったんだ。

それは生活のしかたが主な原因だね。

(p.32)

5 各学年の章末には，“みんなで宣言しよう！”として、宣言を記載するページを設定しています。学習したこと、理解したことを踏まえ、思考、判断、表現の力をつける、その過程を自分や友達と考え、伝え合うことで、より自信をもって、これからの生活や学習に向き合ってもらえるよう、願いを込めて編修しています。



(p.52)

保健を専門としない教員、新任もしくは若い教員にも、取扱いがしやすい構成にしました。

1 学習課題に順序性をもたせることによって、指導案のように扱えることをめざしました。



ふり返ってみよう

今まで不安になったり、なやんだりしたことはないでしょうか。



話し合ってみよう

思春期には、どのような不安やなやみがあるのでしょうか。



話し合ってみよう

不安やなやみには、どのように対処すればよいのでしょうか。



やってみよう

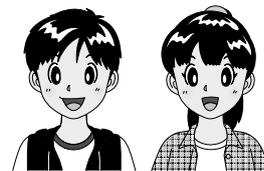
体を動かして、やってみよう！ 気分転かん！

- ② それぞれの学習課題と学習課題とのつなぎは、教師、子どもキャラクターが吹き出し等でわかりやすく説明し、どのように授業を展開すればよいかがわかるようにしています。

「病原体が原因で起こる病気は、ウイルスや細菌などが空気や食べ物などを通して、体内に入ってきて起こるんだね。」

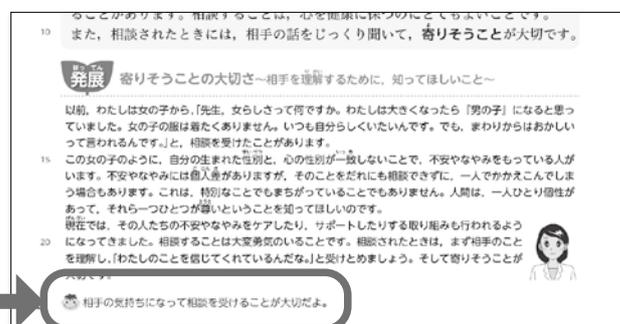
「そのときに、体のていこう力が弱いと、重症化しやすくなるんじゃないかな。」

「予防のしかたについて、くわしく知りたいね。」



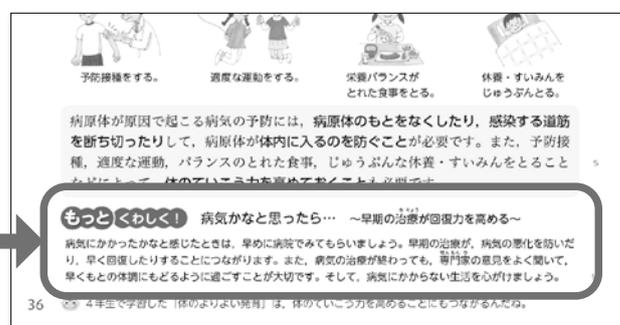
これからの人生がよりよいものになること、その目標に向かって自分自身の課題を見付け、向上心を養い、明るく楽しい生活を営む態度が身に付くことを願って、紙面を構成しました。

- ① 脚注の“つぶやきくん”では、子どもたちへのメッセージや、ちょっとした豆知識を記載し、より多角的な観点と、学習への意欲をよりもっと、もってもらえるようにしました。また、感謝の気持ちをもつことが大切であることにも気付いてもらえるようにし、よりよい道徳心を養ってもらえるようにしました。



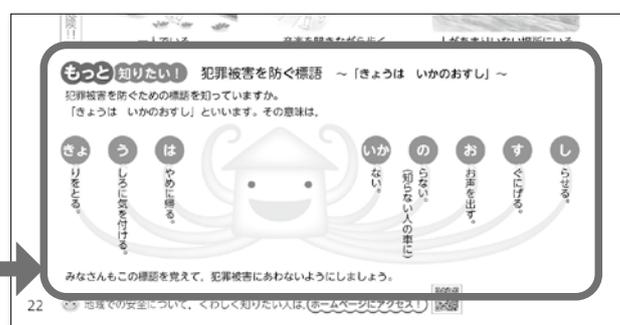
(p.12)

- ② “もっとくわしく!” コーナーを設け、もっと知ってほしい情報を記載することによって、学習内容に深みをもたせるようにしています。



(p.36)

- ③ “もっと知りたい!” コーナーを設け、子どもたち自身が、もっと関心をもって学習に向かっていけるような情報を記載し、知的好奇心をあおりながら、もう一歩先の自分へ到達してほしいという願いを込めて編修しています。



(p.22)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全領域	習得した知識をもとに、道徳心を培うことができるような実習を取り入れ、より自分自身のものとして、学習したことを実践できるようにしました。また、欄外での「つぶやきくん」の言葉で知識を広げ、まわりの人たちへの感謝の気持ちなどを理解することができるようにしました。(第1号)	全頁
全領域	保健室の先生、警察官などの大人のキャラクターを通して、基礎・基本の理解する内容を習得することができるようにするとともに、児童自身が自主的に学習しようとする意欲がいつそう高まるようにしました。(第2号)	全頁
全領域	2人の男女の子どもキャラクターが会話しながら学習を進めることによって、協力が大切であることを意識させながら、自分の課題として考えたり、全体の課題として考えることができるようにしました。(第3号)	全頁
5年「心の健康」 3 不安やなやみへの対処①	不安やなやみへの対処として、生命を健全に守り、継続していくための方法のひとつに“腹式呼吸法”を取り上げ、自然をイメージできる記載を通じて、自然を感じながら自分なりの活動ができるようにしました。(第4号)	P.10
6年「病気の予防」 5 喫煙の害	喫煙の害から守るための取り組みを取り上げることによって、国内のみならず、世界での取り組みにも触れることで、生命の大切さ、日本での活動の意義、国際社会への貢献などを理解できるようにしました。(第5号)	P.44

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 文章表現は、簡潔で分かりやすく、読みやすいものにし、美しい表現に努めました。
- 書体や文字の大きさ、色は、ユニバーサルデザイン等の観点を鑑み、読みやすくわかりやすいものにしました。
- 漢字は、原則として学習者の該当学年までに配当された教育漢字を使用し、新常用漢字についても実態に即して対応しました。また、配当漢字以外でも、交ぜ書き等わかりにくい場合や一般的に読ませたい、読んでほしいと思われる漢字については、ルビ表記で使用しました。
- 該当学年の漢字について、前学年までの漢字以外を使用した場合については、学習がスムーズに行われるように、見開き2ページ単位で、その初出時にルビを付しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-114	小学校	体育	保健	5・6年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
207・文教社	保健・503	わたしたちの保健 5・6年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

真の生きる力を養うために

1

保健領域と運動領域の関連性を強く意識できるように

2

健康であることに感謝の気持ちをもって

3

未来の自分の姿をイメージできるように

思考, 判断, 表現にまで踏み込める内容で構成し, それを身に付けることが, 知識の習得と同時に達成できるように, 特に意識して編修しました。

また, 全単元に, 運動の大切さがわかるような工夫をしました。

小学校体育科の目標では「保健の見方・考え方を働かせ, 課題を見付け, その解決に向けた学習過程を通して, 心と体を一体として捉え, 生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す」とあります。

この趣旨を踏まえ, 本教科書では, 学校現場の実践をもとに, 学習を子どもの側から捉えて基本方針を設定し, 自分の心身への気付きや, 環境の変化への対応, 体育科との連携など, 身近な生活行動・生活環境の中から学習課題を見付けて, 自ら解決, 理解できるようにしました。また, その解決に至る過程を思考し, 判断できる学習課題を設定することにより, 知識, 技能をより自分のものにすることができ, また, 話したり書いたりする方法でもって, それを他者に伝える力を養えるようにしました。また, その目標に向かって, 向上心を養いながら, 楽しく明るい生活を営む態度が身に付くようにしました。

1 動機付けのページ

単元のはじめには、学習の見通しをもって学習に入れるように、子どもたちにとってわかりやすく、なじみがあって、イメージしやすい場面を記載しました。

2 けがの防止

ぼうし
学校や家庭、地域では、事故などによるけがが起こっています。どのようにすれば防ぐことができるだろう。

①学校生活でのけがの防止

②交通事故の防止

③地域での安全

④けがの手当て

多くの学校や地域では、事故によるけがや災害被害などが起こっているのかな。

14

(p.14)

2 不安やなやみへの対処②

まずはだれに相談するか、相談する相手を選ぶことが大切であることを示し、そして勇気をもって相談するイメージを、受け手の観点と同時に理解できるようにしています。

4 不安やなやみへの対処②

● 相談することを通して、心を健康に保つには、どのようにすればよいのだろう。

ふり返ってみよう
今まで不安になったり、なやんだりしたことはないでしょうか。

「勉強のことで、先生に相談したよ。」
「だれに相談したらいいのか、違ったことがあるよ。」
「友達のこと、お母さんに相談したことがあるわ。」

自分のことをふり返って書いてみよう。
ぼく、わたしは…

考えてみよう
だれに相談するのか、考えましょう。

不安やなやみがあるときに…

①今まで、だれが相談に乗ってくれましたか。

②少しでも相談に乗ってくれそうな人は、だれですか。

③これから相談してみたい人は、だれですか。

「相談できそうな人がいると、安心できるね。」
「思い切って相談してみよう。きっと受けとめてくれるよ。」

心を健康に保つために、相談できる人を見つけたり、相談する方法を身に付けたりすることはとても大切です。一人で不安やなやみをかかえずに、まわりの人に相談できるようになりましょう。

こまったときは、少し立ちどまって、まわりをゆっくり見て、落ち着くことも大切だよ。

11

(p.11)

新しい自分に しるあふ

相談のしかた、受け方について話し合ってみましょう。

聞いてくれるかな、わかってもらえるかな。
ぼく、わたしは…

何かあったのかな、どうしたらいいかな。
ちほり

わたしは、友達のことやなやんでいた。素の人に相談すると、「ちほりさんに相談してみたら」とアドバイスしてくれたんだ。次の日の放課後、思い切ってちほりさんに相談してみると、「最近、元気ないから心配していたんだ。つらかったんだね。」と聞いてくれて、気持ち楽になった。今ではみんなとも仲よくしているわ。あの日、ちほりさんが相談に乗ってくれたからだと思う。本当に相談してよかった。

放課後、みほさんに「ちょっと聞いてほしいことがあるんだけど…」と声をかけられ、友達のことやなやんでいることを打ち明けた。わたしは、みほさんはつらかったんだなあと感じて、うなずきながら、最後まで聞いた。

するとみほさんは、「聞いてくれてありがとう。」と、少し明るくなった表情で帰っていった。そんなみほさんのすがたを見て、わたしもうれしくなったわ。

「みほさんは、身近な人に相談したところがよかったね。」
「ちほりさんは、親身になって相談を受けているところがいいね。」

相談のしかた、受け方で大切なことを考えよう。

「わたしは、親身になって相談を受けているところがいいね。」
「ぼくも、なやみがあったら相談してみたいな。」

不安やなやみがあるときには、家族や先生、友達などに話すことで気持ちが楽になることがあります。相談することは、心を健康に保つのにとてもよいことです。また、相談されたときには、相手の話をじっくり聞いて、寄りそうことが大切です。

発展 寄りそうことの大切さ—相手を理解するために、知ってほしいこと—

以前、わたしは女の子から、「先生、女らしさって何ですか。わたしは大きくなったら『男の子』になると思っていました。女の子の服は着たくありません。いつも自分らしくいたいたんです。でも、まわりからはおかしいって言われるんです」と、相談を受けたことがあります。

この女の子のように、自分の生まれた性別と、心の性別が一致しないことで、不安やなやみをもっている人がいます。不安やなやみに個人差がありますが、そのことをだれにも相談できずに、一人でかかえこんでしまう場合もあります。これは、特別なことでもまぢがっていることでもありません。人間は、一人ひとり個性があって、それぞれ一つひとつが面白いということを知ってほしいのです。

現在では、その人たちの不安やなやみをケアしたり、サポートしたりする取り組みも行われるようになってきました。相談することは大変勇気のいることです。相談されたときは、まず相手のことを理解し、「わたしのことを聞いてくれるんだな」と受けとめましょう。そして寄りそうことが大切です。

12 ● 相手の気持ちになって相談を受けることが大切です。

(p.12)

3 けがの防止

自然災害への備えとして、「自助」、「共助」、「公助」の視点で示すことによって、減災につながることを意識できるようにしています。

発展 災害が起きたら、あなたはどうしますか？
～自然災害に備えて、自分たちでできることを考える「自助・共助・公助の助け合いの必要性」～

自然災害からどうやって身の安全を確保していくのが非常に大切であり、今、問われています。自然災害はいつ起こるかわかりません。非常時にどうやって対応していくのか、日ごろからの意識と備えが大変重要になってきます。また、災害による被害をできるだけ少なく（減災）するためには、自助・共助・公助の関係について、よく理解しておくことが必要です。

●自然災害による被害
地震 津波 台風 竜巻 大雪 火災 暴風雨 土砂くずれ

自助
一人ひとりが自ら取り組むこと
日ごろの備えの例
●家具を固定する
●避難ルートを確認する
●非常用持ち出し品の中身
●家族・ヘルメット
●おしんこ用紙・ラジオ
●食・おむつ
●災害用伝言ダイヤル
●災害情報を確認する

自助、共助、公助の関係を知った上で、減災のために何をすべきか、自分ですみやかに判断できるようにしておくことが大切です。

「自助」では、一人ひとりが災害をイメージしておくことがポイントだね。」

共助
身近に住んでいる人同士がいっしょに取り組むこと
地域の避難訓練に参加する
●ふだんからおたがいをやる
●絆・助け合いの大切さ
●友人・となりの人 28%
●自力でだっ出 35%
●家族 32%
●友人・となりの人 28%
●自力でだっ出 35%
●家族 32%

「共助」では、おたがいが知り合っておくことがとても大切だね。」

公助
国、都道府県、市町村が取り組むこと
●防災計画を定めること
●防災マップの作成
●避難所の確保
●ボランティア活動の推進
●リーフレット（パンフレット）の作成
●飲料水や生活用水の提供

「国、都道府県、市町村の取り組みを知っておくことも必要だね。」

28 29

(p.28.29)

4 地域の保健活動

自分、家庭の他、まわりから守られているイメージを示すことによって、活動の意義をより理解しやすくなるようにしています。

8 地域の保健活動
● 地域では、わたしたちの健康を保つために、どのような活動が行われているのだろうか。

「わたしたちは、学校での健康を守る活動について、3年生で学習したよね。」
「学校だけでなく、ぼくたちの地域でも、健康を守る活動があるのかな。」

わたしたちの地域では、保健所と保健センターなどが協力して、病気を予防するための取り組みや、健康を保つための情報提供、施設整備、食品の安全対策など、人々が健康に生活できるようにさまざまな活動を行っています。

次々の活動に当てはまるものはどれか、選んで書きましょう。

わたしたちの健康は、生まれてからずっと地域の保健活動で守られています。

みなさんの安全を守っている検査所
現代社会では、車をこえて人や物が行き交うことが多くあり、検疫が果たす役割は大変重要になっています。検査所は空港や港にあり、感染症の侵入を未然に防いで、広がらないようにしたりしています。また、輸入食品の安全性を確保する役割も果たしています。このような役割を果たす検査所は、国の機関で、現在、全国に設置されています。

心の中話
心の健康を身につけ、なやみやほったことがあっても、相談し合ったり、手助けになる活動を行ったりしています。

50 51

(p.50.51)

5 アスリートからのメッセージ

東京オリンピックでも活躍が期待されているアスリートからのメッセージを記載し、これからの子どもたちの未来を応援できればとの思いで巻末を締めくくっています。

発展 いつまでも健康に ～平均寿命と健康寿命の関係～

日本は世界でも有数の平均寿命が長い国であるといわれています。ところで、みなさんは「健康寿命」という言葉を聞いたことがありますか。健康寿命とは、元気に自立して過ごせる期間のことをいいます。平均寿命と健康寿命の差は、日常生活に制限のある、不健康な期間があることを意味します。この差が小さいということは、健康に暮らせる期間が長く、有難い過ごせることもつながります。いつまでも充実した生活を送るためには、健康寿命を延ばすことが大切です。これからの未来をつかっていくみなさん、保健の時間で学習したことを生かして、よりよい生活をしていきましょう。

●平均寿命と健康寿命の差（2016年）

性別	健康寿命 (年)	平均寿命 (年)	差 (年)
男性	72.14	80.96	8.82
女性	74.79	87.14	12.35

(健康寿命と平均寿命の差は、厚労省発表)

これからのさみたちへ アスリートからのメッセージ

～夢に向かって～

リオデジャネイロオリンピック
陸上男子4×100mリレー兼メダリスト
山根 亮太 選手 (セイコー所属)

ぼくが100メートル走と出会ったのは、小学校4年生のときでした。はじめて出場した大会で広島市の1位になることができて、「かけっこが自分の得意なことなんだ。」と思うことができました。そして家族や友人が自分のことのように喜んでくれて、とてもうれしかったことをよく覚えています。今頃は、もっと速く走ることによって応援してくれる人たちに喜んでもらえるように、毎日一生けん命練習していますが、このときのうれしかった気持ちが今でもぼくが走る原点になっているんだなと感じています。

2020年の東京オリンピックをはじめ世界大会でしっかりとたたかうために、ぼくが大切にしていることのひとつは、「心・技・体」のバランスをしっかりと整えることです。「健康な身体」、「素直な心」、そして「毎日の努力の積み重ね」。この3つがそろって初めて夢への大きな一歩がふみ出せると思います。みなさんも自分の夢や目標に向かって、いっしょに一歩ずつがんばっていきましょう。

いよいよ中学生だね、いろいろ学んだことを、これからの生活に生かしていこう。応援しているよ！

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1 心の健康	5・6年G(1)	P. 2	4
1 心の発達	5・6年G(1)ア(ア), イ	P. 3~5	
2 心と体のつながり	5・6年G(1)ア(イ), イ	P. 6~7	
3 不安やなやみへの対処①	5・6年G(1)ア(ウ), イ 内容の取扱い(9)	P. 8~10	
4 不安やなやみへの対処②	5・6年G(1)ア(ウ), イ 内容の取扱い(9)	P. 11~12	
わたしのスッキリせん言	5・6年G(1)イ	P. 13	
2 けがの防止	5・6年G(2)	P. 14	4
1 学校生活でのけがの防止	5・6年G(2)ア(ア), イ	P. 15~17	
2 交通事故の防止	5・6年G(2)ア(ア), イ	P. 18~20	
3 地域での安全	5・6年G(2)ア(ア), イ	P. 21~23	
4 けがの手当て	5・6年G(2)ア(イ), イ 内容の取扱い(7)	P. 24~25	
わたしの安全せん言	5・6年G(2)イ	P. 26	
3 病気の予防	5・6年G(3)	P. 30	8
1 病気の起こり方	5・6年G(3)ア(ア), イ	P. 31~33	
2 病原体と病気	5・6年G(3)ア(イ), イ 内容の取扱い(7)(9)	P. 34~37	
3 生活のしかたと病気① -生活習慣病の予防-	5・6年G(3)ア(ウ), イ 内容の取扱い(9)	P. 38~39	
4 生活のしかたと病気② -むし歯や歯周病の予防-	5・6年G(3)ア(ウ), イ	P. 40~41	
5 喫煙の害	5・6年G(3)ア(エ), イ	P. 42~44	
6 飲酒の害	5・6年G(3)ア(エ), イ	P. 45~47	
7 薬物乱用の害	5・6年G(3)ア(エ), イ 内容の取扱い(8)	P. 48~49	
8 地域の保健活動	5・6年G(3)ア(オ), イ 内容の取扱い(7)	P. 50~51	
わたしのいきいき宣言	5・6年G(3)イ	P. 52	
		合計	16

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-114	小学校	体育	保健	5・6年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
207・文教社	保健・503	わたしたちの保健 5・6年		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
12	寄りそうことの大切さ～ 相手を理解するために、 知ってほしいこと～	1	5・6年G(1)ア(ウ) 相談することにおいて、不安やなやみには個性があり、その一つひとつが尊 いものであることを知り、寄りそうことの大切さに、さらに気付かせるために 取り上げました。(記載に性同一性障害と思われる相談内容を含める。)	0.25
25	AED(自動体外式除細 動器)	1	5・6年G(2)ア(イ) 安全施設の整備が進む中、AED(自動体外式除細動器)の設置されている ことを理解させ、周りとの関わりや、現在だけでなく将来的にも的確な判断 ができる手助けとなるように取り上げました。	0.25
27	熱中症～もし、あなたの まわりの人が熱中症に なってしまったら～	1	5・6年G(2)ア(イ) 手当ての延長として、熱中症を取り上げ、自分自身だけではなく、他者への関 わりの例を理解させることによって、より実践的な行動をとることの意識をも たせるために取り上げました。	1
28	災害が起きたら、あなた はどうしますか?～自然 災害に備えて、自分たち でできることを考える 「自助・共助・公助の 連けいの必要性」～	1	5・6年G(2)ア(ア) 自然災害への対処を、日ごろからの意識のもち方を、自助・共助・公助の観 点から理解し、より実践的な行動をとることの大切さを意識させるために取 り上げました。	2
33	教えて!保健室の先生 Q&A	1	5・6年G(3)ア(ア) 病気の原因を理解させた上で、体を守るしくみが自然に備わっていることを 示すことで、原因の特定等を考えさせ、より深い理解へとつながるようにす るために取り上げました。	0.5
35	気を付けよう!食中毒	1	5・6年G(3)ア(イ) 病原体を学習したあと、食中毒が年間通じてコンスタントに発生している客 観的資料を示すことによって、より予防する意識をもたせるために取り上げ ました。	0.25
37	細菌って全部悪者な の?	1	5・6年G(3)ア(イ) 菌には病原体のような悪玉菌だけではなく、様々な善玉菌が存在することに 触れ、食品の具体例をあげ、より健康になること、そして健康を保つことの 大切さに気付かせるために取り上げました。	0.25
41	すごいぞ!だ液パワー ～健康を守るだ液の働 き～	1	5・6年G(3)ア(ウ) 口腔内の健康保持のため、よく噛むことの大切さの観点から、児童も意識し ている唾液の具体的な働きを取り上げ、より口腔内の衛生を保つ意識をもた せることができるように取り上げました。	0.25
44	喫煙の害から健康な生 活を守るためのこれか らの課題	1	5・6年G(3)ア(エ) 喫煙の害から健康な生活を守るために、禁煙に向けた課題として、日本にと どまらず、世界での取り組みがあることを理解させたり、来るべき東京五輪 での取り組みや対応の大切さに気付かせたりして、将来にわたって望ましい 生活習慣を身に付けることができるように、また、これからの周囲との関わり で、世界的な観点をもって接していけることを願って取り上げました。	0.5

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
47	ノンアルコール飲料なら、飲んでもいいの？	1	5・6年G(3)ア(エ) 飲酒の害から、児童が身近に感じている疑問として、“ノンアルコール飲料”はどのようなものかを理解させ、将来にわたって望ましい生活習慣を身に付けることができることを願って取り上げました。	0.25
47	命に関わる飲酒	1	5・6年G(3)ア(エ) 飲酒が危険なものであることを、客観的資料を示すことによって、より健康に対する意識をもたせるために取り上げました。	0.25
49	「危険ドラッグ」とは？	1	5・6年G(3)ア(エ) 現在社会において、危険ドラッグが身近な危険として迫ってきていることを理解させ、インターネットなどの普及も鑑み、より薬物乱用を防止する観点を意識させるために取り上げました。	0.25
51	みなさんの安全を守っている検疫所	1	5・6年G(3)ア(オ) 検疫所の活動を通して、グローバル化が進む中で、国内での活動以外に、世界とのつながりの中で、様々な活動があることを理解させ、より保健活動に関心をもってもらえるように取り上げました。	0.25
53	いつまでも健康に～平均寿命と健康寿命の関係～	1	5・6年G(3)ア、イ いつまでも健康でいるために、最近よく聞く平均寿命と健康寿命との関連を示し、小学校の保健の学習で学んだことをより実践していけることを願って取り上げました。	0.5
合計				6.75

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容